

2018年7月20日
長野県松本深志高等学校地学会
顧問 井口智長

日本地球惑星科学連合 2018 年大会 高校生ポスターセッション 佳作受賞の報告

この大会は宇宙惑星科学，大気水圏科学，地球人間圏科学，固体地球科学および地球生命科学の 50 余りの学会からなる日本地球惑星科学連合が，千葉県幕張メッセ国際会議場を会場に毎春合同で行っているもので，2006 年からは高校生によるポスターセッションを行っています。地学会は大会に参加して 4 年目になりますが，今年度初めて下の 2 件の発表を行い，共に佳作を受賞いたしました。

この賞は全 77 件のうち最優秀賞 1 件，優秀賞 4 件，奨励賞 7 件に次ぐ賞（21 件）です。学会発表での受賞は 2015 年に長野市で行われた日本地質学会の小さな Earth Scientist のつどいで一ノ瀬菜月さんが「枕状溶岩を作ろう～身近なもので再現実験」を発表し，奨励賞を受賞して以来です。

「松本市街地の雲海」小俣いつ子，藤井遥香

「北アルプスが夕立に及ぼす影響」上条藍悠